

幼児保健指導グループ研究会

グループ員：村瀬 聡美	(このいけ幼稚園)	高郷 祥世	(伊丹幼稚園)
河本 梓	(稲野幼稚園)	松本 珠紀	(南幼稚園)
岩本 理恵子	(緑幼稚園)	大野 道子	(桜台幼稚園)
北川 千栄子	(天神川幼稚園)	宮口 千春	(ささはら幼稚園)
高垣 里穂	(みずほ幼稚園)	濱西 美津子	(はなさと幼稚園)
重田 雅麻	(こやのさと幼稚園)	森 恭子	(せつよう幼稚園)
坂本 圭子	(おぎの幼稚園)	梶岡 千晶	(いけじり幼稚園)

担当指導主事：中田 智継

キーワード：幼児 保健指導 教材 実演 アレルギー

1 研究テーマ

「幼児にわかりやすい保健指導をするには、どのようにすればよいかを研究する」

2 研究内容

(1) 保健指導の教材や掲示物の情報交換

各自が行っている保健指導で同じテーマ(内容)の教材や掲示物を持ち寄り、指導の実演を見て情報交換した。

(2) 栄養士の講話

肥満傾向や偏食傾向のある子どもへの対応と、食事面等に関する保護者への啓発方法等についての講話を聴き、研修した。

(3) アレルギー対応シミュレーション

アレルギー症状が起こった時の対応訓練を行った。2グループに分かれて園児、担任、教員、園長役などになり、症状に応じてシミュレーション研修をした。

(4) 事例研究(情報交換)

- ① 嘔吐処理方法について(嘔吐処理キットの用意)
- ② 餅つきの感染予防について(消毒液の準備)
- ③ 幼児健康診断票について(記入の仕方、変更点の確認)



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 保健指導について、同じテーマ(内容)の教材や掲示物を持ち寄ったことによって情報共有ができ、今後の保健指導の参考になった。
- ② 栄養士の講話について、肥満児の肥満改善のためには生活習慣の見直しや保護者への啓発が大切なことがよくわかり、今後の指導や保護者啓発に活かすことができた。
- ③ アレルギー対応シミュレーションを行うことで、実際に問題が起こった時にすぐに対応するためには、日頃から訓練をしておくことが大切であると学んだ。

(2) 課題

今後も健康に関する知識の向上をめざし、幼児にとってわかりやすく、すぐに活かせる、心に響く保健指導の内容を研修し積み上げていく必要がある。